

一般財団法人 明石コミュニティ創造協会

2022 年度事業報告書

総括

2022 年度は、一般財団法人になり 10 年、明石コミュニティ創造協会として設立してから 40 年という大きな節目の年でした。この 10 年で事業が多角化しスタッフ数も増える中で、「明石コミュニティ創造協会が何者なのか」「明石コミュニティ創造協会らしさとは何なのか」をより一層明らかにする必要性が出てきました。2021 年度から引き続き、リーダー以上の職員の集まったビジョン会議での検討や、スタッフ全員が集まった全体会での検討を続け、ようやくビジョン・ミッション・パーパスの言葉やデザインへの見える化を実現することができました。その結果として、11 月には 40 周年記念イベントを開催し、ブランディングの成果を市民の皆さんに報告することができたことは、大きな成果であったといえます。

そのような中、コロナウイルスの影響も少しずつ落ち着きつつあり、事業面では活発に動いた 1 年でした。複合型交流拠点ウィズあかし（生涯学習センター・男女共同参画センター・市民活動支援センター、以下、「ウィズあかし」）の運営においては、次期指定管理者としての応募準備と、その後採択決定後、2023 年度からの新たな 1 年に向けた準備に注力しました。プロパー職員中心に指定管理申請チームを編成し応募準備を進められ、無事に採択されたことは嬉しい出来事となりました。

2020 年に作成した明石市内のブックスポット情報を集めた MAP をきっかけに、新しく「明石まちなかブックスポット事業」が動き出したことは、2022 年度の大きな出来事でした。ウィズあかし内につながる本棚「hito-haco」を設置するとともに、市内のブックスポットを支援する事業がスタートしました。2020 年に 50 ヶ所だったブックスポットは、71 ヶ所に増え、2022 年度は明石市からの受託事業として、ブックスポットパワーアップのための助成事業を実施しました。市内の多くのブックスポットは、単なる本を設置するだけでなく、交流会を開催したり、読み聞かせをしたりして、地域の居場所として活発に活動をしており、それらに対して助成事業を通じて、地域内のつながりの拡充につながれたことは大きな成果であったといえます。

その他、協働のまちづくり推進事業や公共施設の管理運営事業（ウィズあかしの運営）など、具体的な事業については、次ページ以降に記載します。

【目次】

I. 協働のまちづくり推進事業-明石市委託事業-	2
II. 生涯学習の推進事業	6
III. 公共施設の管理運営事業-複合型交流拠点ウィズあかしの運営-	11
IV. 情報発信・情報提供に関する事業-全体に関する事業-	22
V. 市民の主体的な活動支援事業	24
VI. 法人管理	29

I. 協働のまちづくり推進事業-明石市委託事業 -

校区まちづくり組織支援においては、これまで以上に「多様な市民が協働のまちづくりに関われる仕組みづくり」に向けて動き出している。具体的には、多様な市民が関わるきっかけづくりの場（意見交換会）の設置や、部会制よりもハードルが低く活動できる仕組み（少人数のチーム制）などを進める校区が増えつつある。

しかしながら一方で、このような取り組みはまだ一部の地域にとどまっており、どのようにして市域全体に広げていくかという新たな課題が見えてきた。そこで今年度は、多様な市民が協働のまちづくりに関われる仕組みづくり・制度化の一層の拡充と市域全体への普及・横展開に重点を置き取り組みを進めた。

具体的には、新しい地域参加のモデルについて伴走支援するとともに、それらの取り組みを踏まえて担当課と「明石の校区におけるまちづくりの将来像」の検討とそれを土台とした「まちづくり協議会運営ハンドブック」「組織力分析シート」の更新を進めた。その結果、地域内の課題解決等の活動をまちづくり協議会が中心になって担う「自前実行型」や、地域内の多様な主体と連携しながら課題解決等の活動に取り組む「プラットフォーム型」など想定される組織類型などを整理することができた。加えて、その過程において地域事務局連絡会議や市連合まちづくり協議会の理事会等で議論を重ねたことで、明石のまちづくりの新たなフェーズの兆しを共有できた1年になったと感じている。

1. 地域自治の支援事業

(1) 全体支援

今年度は明石のまちづくりを新たなフェーズに進める取り組みに注力をした。具体的には校区まちづくり組織を始めとした各当事者に対して視点づくりを促す情報発信やセミナーが挙げられる。加えて、支援者間で協働のまちづくりの長期的なあり方を検討しまとめる機会を設けたことも大きな特徴だった。2012年から取り組んできた校区まちづくり組織の支援が、部会制の限界や人材や活動を育んでいく仕組みの必要性など転換期を迎えるなかで、担当課との継続的な議論を通じて今後の方針を立てることができた。

①情報共有・情報発信（提供）

情報共有・情報発信においては、校区まちづくり組織役員・自治会長等を対象とした公式 LINE「明石のまちづくり」による参考事例の共有、まちナビ AKASHI を活用した校区まちづくり組織の情報発信支援を軸に取り組んだ。

【実施内容】

内容	詳細
LINE 公式アカウント「明石のまちづくり情報」での情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・配信期間：4月1日～3月31日 ・配信件数／登録人数：27件／179人

まちナビ AKASHI 校区ページの活用支援 (勉強会の開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・内 容：まちナビ AKASHI 編集勉強会 ・日 時：2月2日(火) 10:00~12:00 ・参加者数：37名
明石市連合まちづくり協議会広報部会の 運営支援	明石のまちづくり第11号(令和4年10月発行) 明石のまちづくり第12号(令和5年3月発行)
<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズあかし内に28の校区まちづくり組織の情報紙配架ラックの設置 ・まちナビ AKASHI のリニューアルによる活動情報のPR強化 	

②相談・コーディネート

広く協働のまちづくりを推進していくために、まちづくり協議会などの校区まちづくり組織への直接支援だけでなく、地域内で活動を行う各種団体に対して相談・コーディネートを行った。なお、分野型組織の相談・コーディネートについては、指定管理運営を行う「ウィズあかし」と連携することで、広く相談にのれる体制で実施できた。

【取組内容】

相談・コーディネート件数(校区まちづくり組織からの相談件数は除く)

項目	相談		コーディネート
	地縁型組織	分野型組織	
件数	4件	47件	44件
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション自治会の規約見直しの相談対応 ・自治会や町内会の活動見直しや人材育成に関する相談(複数件あり) など 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や団体の立ち上げ相談 ・活動の運営相談 ・NPOなど法人の設立相談、解散相談 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講師の中学校コミセンへコーディネート ・市民活動団体のまちづくり協議会の夏祭り等地域行事へのコーディネート など

③活動支援・人材育成

活動支援・人材育成については、特に校区まちづくり組織に関する「活動の拡充」「今後のまちづくりに求められる視点づくり」を支援する勉強会に注力をした。特に後者については、協働のまちづくり組織に移行する校区が半数を超え、残りについても策定に向けて模索を進めるなかで、校区のまちづくりのあり方を捉え直すタイミングであると定めた。

【取組内容】

勉強会名	開催日時	概要	参加人数
まちづくり事例上映会	6月15日(水) 15:00~17:30	地域交付金校区を主対象に、市外の先進的なまちづくり協議会から取り組みを学ぶ機会として開催した。	3名

防災講演会 「みんなが生きるこれからの地域防災」	6月26日(日) 14:00~16:30	ウィズあかし男女共同参画事業と連携して開催。防災をテーマに、多様性理解や男女共同参画の視点を育むことを目指し開催した。	56名
広報ステップアップセミナー	11月20日(日) 14:00~16:30	いちのせき市民活動支援センターの小野寺氏を招き、人材・情報のコーディネートツールとしての広報紙のあり方を学んだ。	25名
コーディネート研修 「ちょっと気になる」からはじめる地域の人と活動を育むコーディネート」	3月24日(金) 14:00~16:00	校区におけるまちづくりの新たなフェーズにおいて重要となる「コーディネート機能/コーディネーター」について、その意義等を体系的に知る研修として実施した。	9名



▲防災講演会「みんなが生きるこれからの地域防災」



▲広報ステップアップセミナー

④その他、推進に必要な取り組み

本項総括に記載のとおり、今年度は明石の新たなフェーズに向けて協働のまちづくりの長期的なあり方検討を進めた。検討した結果は、協働のまちづくり推進組織運営ハンドブック（旧:運営手引）、組織力分析シート（旧:自己点検シート）を改訂することで、普及啓発できる形へまとめた。次年度は上記2点を活用し、個別支援でも新たな校区まちづくりのあり方検討の議論を促していく。

また検討内容を実装していくために、支援者間での合同勉強会や他分野支援者との情報共有を重ねており、次年度からの展開に向けた土台作りを進めた。

【打ち合わせ内容】

開催日	協議内容
9月6日(火)	・自己点検シートや運営手引等のスケジュールの確認 ・将来的(2030年を仮に想定)な校区まちづくりのあり方及びその推進組織の機能と役割についての協議
9月28日(水)	・第1回で論点化された、将来的な校区まちづくり組織の形態である、自前型組織とプラットフォーム型組織のモデルイメージの検討

10月14(金)	・今後の校区まちづくり組織のあり方について、組織モデルの検討や校区組織が担う役割について議論
11月11(金)	・「組織力分析シート」「運営ハンドブック」改訂に向けた、ポイント整理を行った。特に組織力分析シートの最も進んだ状態である「ステップ5」をどう設定するかについて議論
<p>・以降も担当者間で運営ハンドブック改訂に向けた打ち合わせを行った。</p> <p>・組織力分析シート及び運営ハンドブックは市連合まち協 12 月理事会で回り 2 か月の意見募集期間を設けたのちに3月末に改訂が完了した。</p>	

【明石市コミュニティ・生涯学習課との支援者勉強会】

開催日	勉強会の内容
7月6日(水)	・「地域づくりコーディネートゲーム」を活用し、地域状況の見立てと支援戦略づくりをシミュレーション形式で体験。実施後には振り返りワークショップを行い、今後必要な知識やスキル、マインドについて意見交換した。
9月16日(金)	・第1回でシミュレーションした地域に対する見立て(仮説化)と支援について、実践例から学ぶ機会として実施。「まちづくり計画策定」「地域事務局支援」の2つのテーマについて、先輩支援者が具体的にどのように見立て、支援にあたったかをレクチャーを行った。
2月10日(金)	・「これまでの私の支援を振り返り、適切な支援のあり方を考える」をテーマに開催。 ・先輩支援者の「地域支援におけるしくじり」を題材に、支援戦略の立て直しと具体的なアクションを事例紹介。その後、過去2回も踏まえ、適切な支援のあり方と支援者として考える「まちづくりにおいて大事なこと」をディスカッションした。

【他機関連携】

連携機関	連携内容
明石市社会福祉協議会 (及び各総合支援センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者連携会議等での情報共有 ・モデル地区を軸にした地域づくりと福祉の連携の模索。 ・各層生活支援コーディネーターとの情報交換 など
明石市教育委員会学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者連携会議等での情報共有 ・学校教員と地域住民の意見交換におけるファシリテーション支援 など

(2) 校区直接支援

明石市より 2025 年までのまちづくり計画策定への着手という指針が出されたことで、策定に向けた準備や中期的な取り組み方の検討が大きく進んだ。従来に比べ短期間でプロジェクトチーム設置等に進む校区もあるなかで、地域の状況あった進め方を適切に議論できるように事例提供や論点整理を重点的に行った。

その他校区についても、各勉強会をきっかけに会計制度の見直しや広報活動の支援に着手するなど地域の状況に合わせて支援を進めた。

① 地域交付金受託校区

交付金受託校区は主に組織体制や活動の見直しに向けて、会議や意見交換のサポート、また他校区の事例など情報提供を通じて支援を行った。

校区名	松が丘 / 朝霧 / 林 / 花園 / 藤江 / 和坂 / 鳥羽 / 山手 / 大久保 / 魚住 / 錦が丘 / 錦浦 / 二見北
-----	---

② 計画書策定・見直し校区

まちづくり計画書を策定するための会議や意見交換の場づくり、組織強化につながる支援や、今後の活動を検討していくための情報提供などを中心に実施した。

校区名	中崎 / 大観 / 大久保 / 二見 / 花園 / 江井島
-----	-------------------------------

③ その他校区

まちづくり計画書策定に着手する前の校区に、組織体制や活動など各校区まちづくり組織に必要な支援を通じて、計画書策定に向けた意識付けを行った。

校区名	貴崎 / 大久保南 / 谷八木 / 高丘東 / 二見西 / 明石 / 西明石活性化協議会
-----	--

II. 生涯学習の推進事業

中学校コミセン改革においては、エリアマネージャー制度が2年目となる中で、改革で目指していく「学びのハブ」としてのコミセンを体現する動きが目立ち始めた。昨年から続くコミセン祭りの見直しに加え、フリースペースや図書コーナーなどによる拠点づくりや、ボランティア活動へのコーディネートなど、各地でエリアマネージャーが主体的に取り組み始めている。当法人では各コミセンのニーズや状況に合わせた個別支援と、研修や広報支援など全体に向けた支援を進めた。今後は、より理想の「学びのハブ」に向け、主体的な動きが生まれやすい仕組みづくりを進めていく。

同じく運用2年目となったあかねカレッジは、新たな高齢者学習の広がりに向け進み始めている。ライトコースは受講生が約700名で、有料化などもあり昨年度から人数は減ったものの、全体的に受講意識の高さが感じられた。新たに始まった科目別コースでは、昨年にライトコースを受けた学生が次の機会として受講するなど、想定通りの学習行動も見受けられた。その他にもあかねカレッジ受講をきっかけに、地域でボランティア活動を希望する受講生も生まれつつある。今後もあかねカレッジを中心に、高齢者の学習機会をコーディネートする仕掛け作りが重要になると感じている。

1. 中学校コミセン改革支援事業

今年度は主体的な動きを行うエリアマネージャーの活動を支援するとともに、全体的な底上げを図る取り組みも同時に進めた。これまでもエリアマネージャー全体で関心が高かった中学校コミセンの広報活動については、広報研修やホームページの制作などを実施。情報紙や公式 LINE と合わせて、各コミセンでより主体的に情報発信を進めるきっかけとなった。

また、各コミセンで主体的な取り組みが進めている状況に合わせ、中学校コミセンとして目指す「学びのハブ」の事例を体現しているような取り組みを事例として可視化を進めた。事例の把握と共有を進めたことで、よりエリアマネージャー自身の活動の意識向上につながっていると感じている。

(1) 各中学校コミセンへの支援

各中学校コミセンの運営状況の把握を行いながら、それぞれのエリアマネージャーのモチベーションや課題意識に合わせて、「学びのハブ」としての機能が充実していくように個別に運営支援を行った。特に今後他のコミセンへ横展開していけるような取り組みに注力して支援を行い、事例化につながっている。



▲大久保北コミセン 中学生との協働事業

【支援内容】

コミセン	注力した支援ポイント
野々池	・主催事業「みんなの学校」の自立運営支援
大久保北	・地域連携事業の企画支援、拠点の場づくり支援
魚住・魚住東	・講座受講生のボランティア活動等へのコーディネート、講座内での交流機会づくりの支援
二見	・コミセン運営委員会の見直しと合同文化祭等活動の見直しに向けた支援

(2) 全中学校コミセンに向けた支援

① エリアマネージャーへの意見交換・情報交換の機会づくり

エリアマネージャー運営上で気になっているテーマなどについて、全エリアマネージャーが一同に介する「エリアマネージャー会議」などで意見交換や情報交換を行う機会づくりを支援した。今年度は「これからの中学校コミセンのあり方」について話し合われるなど、コミセン改革の本質的な部分に当事者自身が関心を寄せる風土となっている。

【支援内容】

研修機会	回数	内容
エリアマネージャー会議	12回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校コミセンの運営における近況 ・ 今後の市民講座、ライトコースなどのあり方について ・ 登録サークルの制度や団体のあり方について ・ 第Ⅱ期生涯学習ビジョンの方針を踏まえた中コミのあり方 など
広報に関するプロジェクト会議	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからの広報紙のイメージについて ・ 広報紙フォーマット案の掲示、内容や見せ方 など

② 研修機会の実施

今年度は運営で活用しやすい具体的なスキルを高めるための研修機会を中心に開催した。特にこれまでも現場からの関心が高かった広報について注力して実施。広報研修を開催した後は、主体的に全コミセンで広報紙の見直しが行われ、内容やデザインをこれまで以上に意識した媒体作成に繋がった。

【開催内容】

研修機会	開催日時	内容	延べ参加者数
広報研修 「思わず手に取る広報紙を作ろう」	6月21日（火） 6月28日（火） 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手に取られやすい広報紙とは ・ 写真の撮り方 ・ 文章の書き方、見せ方 など 	45名
まちナビ AKASHI 中学校コミセンページの更新研修	10月18日（火） 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブログ記事の書き方 ・ 画像データの更新方法 など 	9名
まちナビ AKASHI 編集勉強会（再掲）	2月2日（木） 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブログ記事の書き方 ・ 画像データの更新方法 など 	21名
コーディネート研修（再掲）	3月24日（金） 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域におけるコーディネートの意義、機能について など 	1名

③ 情報発信の強化支援（ホームページの構築支援）

情報発信を強化するために、以前から求められていた各コミセン個別のホームページの構築を行った。運営の負担にならないよう、必要最低限な情報を掲載できる仕様で構築。上記の更新方法の勉強会を開催したことで、情報誌の掲載など基本コンテンツだけでなく、積極的に講座の開催報告をブログで紹介するコミセンが複数現れるなど、積極的な情報発信に繋がっている。

ホームページの構築	全13コミセンに設置 (コンテンツ：お知らせ、活動サークル、情報誌、貸室・施設情報、開館情報、基礎情報)
-----------	---

④ 学びのハブに向けた意識啓発

地域における「学びのハブ」に向けて、目指す方針をエリアマネージャーや職員がイメージしやすいよう、現場での取り組み事例をまとめて可視化し、全エリアマネージャーに向けて共有した。各地で主体的に進められた取り組みを生涯学習ビジョンと照らし合わせながら整理することで、抽象的な方針から今後の具体的なアクションへの視点形成へと繋がったと捉えている。

【取組概要】

- ・活動事例となる中学校コミセンへの取材
- ・「中学校コミセンの取組事例」の紹介スライド作成
- ・「学びのハブ」としての中学校コミセンが目指す役割・イメージ」の資料作成

2. 高齢者の主体的な学習機会支援（「あかねカレッジ」の運営支援）

今年度はライトコースが運営2年目を迎えるとともに、新たに科目別コースで5学科が先行してスタートした。複数コースによる運営が始まったことで、各コースの企画運営サポートを行うとともに、受講生の学習支援としてコースの間の行き来やそのためのサポートのあり方などについて、あかねが丘学園担当者と調整・検討を重ねた。また、翌年度から始まる新コースや科目別コースの新学科の開講に向けては、コーディネートセンターの役割や講師候補などについて、提案をしながら設計支援に携わった。



▲科目別コース あかし地域学科

(1) あかねカレッジ各コースのコーディネート、新コース等の設計・運営支援

2年目を迎えた「ライトコース」や運営初年度となる「科目別コース」、また翌年度に開講を控えた新コース「地域 de 活かすコース」の3つの各コースを充実したものにしていくために、関係各所と企画・調整を行った。特に翌年度から始まる科目別コースの新学科（5学科）と地域 de 活かすコースについては、講師の検討やカリキュラム案の作成なども担った。

【取組内容】

内容	詳細
各種データ等の運営状況の分析・実態把握	・ライトコース開催初年度のデータと2年目のデータを中心に、ライトコースにおける運営実態は把握するためのデータ分析
各コース充実化に向けた企画・調整	・2年目を迎えた「ライトコース」や運営初年度となる「科目別コース」、また翌年度に開講を控えた新コース「地域 de 活かすコース」の3つの各コースを充実したものにしていくための関係各所との企画・調整
会議等での各コースの企画に関する	・あかねカレッジ全体の運営について検討を行う「カリキュラム検討会議」

助言などの支援	(全7回) への出席及び助言 ・コーディネートセンターの運営支援
次年度の各コースの運営にかかる企画支援	・翌年度から始まる科目別コースの新学科(5学科)及び地域de活かすコースの講師紹介やカリキュラム案の作成、調整など

(2) ライトコースの運営支援

各種研修・勉強会の実施や問い合わせ対応等を通じて、コミセン職員・エリアマネージャーがライトコースをスムーズに運営できるように支援した。その他、ロールモデル講座の開催やオンライン講座の運営支援などを通じて、ライトコースの講座が充実するように取り組んだ。

【取組内容】

内容	詳細
ライトコースの運営支援	・コミセンからの相談・サポート対応 ・運営にかかる資料・データの作成 ・その他運営にかかる支援
講座の企画実施・運営支援	・ロールモデル講座の企画・実施(全6回) ・オンライン講座の運営支援(全11回)
ホームページ及びデータベースの運営・保守管理	・あかねカレッジホームページの運営 ・データベース kintone の運用
広報物の作成・PR	・あかねカレッジ募集パンフレットの作成 ・あかねカレッジ募集チラシの作成 ・ライトコース講座一覧の作成 ・SNS、ホームページの運営
翌年度ライトコースの開催準備	・受講生ファイルの準備 ・各種グッズの作成・配布
その他運営支援	・エリアマネージャー、コミセン職員向け勉強会の開催(2回)



▲あかねカレッジパンフレット



▲ロールモデル講座の実施

(3) その他、あかねカレッジ全体の充実に向けた企画・調整

あかねカレッジの対象となる市民に対し、広く学びの相談窓口と機能することと、あかねカレッジの受講生が次の学びや活動の機会につなげられていくために、相談・コーディネート機能の拡充が重要となる。あかねカレッジ運営2年目で、各コースが少しずつ動き出す中で、それら市民のサポートと充実させていくために、昨年度設置されたコーディネートセンターの場づくりや雰囲気作りのサポート、また紹介動画の作成などを支援した。



▲コーディネートセンター紹介動画

III. 公共施設の管理運営事業-複合型交流拠点ウィズあかしの運営-

複合型交流拠点ウィズあかし（生涯学習センター・男女共同参画センター・市民活動支援センター、以下、「ウィズあかし」）の運営は、2022年度が指定管理期間（2017～2022年度の指定管理期間、以下「1期目」）の最終年度となる。今年度は1期目の集大成として、hito-haco など新たな取り組みも含めこれまでの運営の充実を行いながら、2023年度からの新たな5年の指定管理者としての応募準備を進めた。

1. 次期指定管理に向けた申請

次期指定管理に向けた申請の企画内容としては、法人のコンセプトである「わたしづくり・なかまづくり・まちづくり」をウィズあかしの運営においても共通する大切なキーワードであると捉え、積極的にグループワークを活用したり、サロンや交流会を開催したりしながら、「わたしづくり・なかまづくり」が進むように仕掛けた1期目を、さらに2期目では「まちづくり」に拡げていくことを提案した。具体的には、「わたしとまちがつながる交流拠点」をコンセプトに、ウィズあかしそのものがまちとつながっていくことを通じて、「わたしづくり・なかまづくり・まちづくり」の好循環を生み出すことを目指す内容としている。熟考して作成した企画内容が、審査員にも評価され、無事に2023年度からの2期目の指定管理者として採択された。



2. 複合型交流拠点ウィズあかし（明石市生涯学習センター及びあかし男女共同参画センター）の運営

今年度は、新たな取り組みを取り入れつつ、ウィズあかしを通じた市民のエンパワメントを広げるため、これまで事業の充実化を進めた。

まずは市民活動ステップアップ助成金の実施。3年目となる今期は、近年の社会状況に合わせたSDGs分野と、ウィズあかしならではの視点として男女共同参画分野と、2つの分野における活動助成を実施し、市民活動の裾野を広げる機会とした。

また、各種分野に応じて開催する講座やセミナーでは、市民のニーズを汲み取りながら新たなテーマや学びの仕掛けを設けるなどし、充実化を進めた。特に今年度は、参加者同士が共に関わり合い、学び合う仕掛けに注力。個人の学びやエンパワメントを高めていくためにも、今後も互いに学び合う機会づくりの充実を進めていく。

そのような中でも、特徴的な新たな取り組みとして hito-haco を設置した。図書の貸出や本を通じた事業をこれまでも実施していたが、常設の本棚を通じて市民個人の関心を広く共有する仕掛けは、公共空間における新たな市民交流の仕掛けにつながると捉えている。

(1) 施設の管理運営

広く市民が利便よく施設を利用できるように、施設の管理運営を行った。今年度は、hito-haco など無料施設の充実化を進めながら、次年度からの第2期指定管理運営に向け、市民参加による施設運営や必要な設備の改修などを行った。

① 開館日数・来館者数・稼働率等

開館日数	310 日間（※参考：2021 年度 310 日間）	
来館者数	196,815 名 (158,281 名)	(内訳) 有料施設：151,156 名 (107,180 名) 無料施設（保育室）：1,147 名 (1,108 名) フリースペース：44,512 名 (49,993 名)
有料施設の稼働率	65.4% (54.7%)	(内訳) 明石市生涯学習センター：63.3% (52.9%) あかし男女共同参画センター：72.8% (60.8%)

※（）内は 2021 年度実績。

② 貸室別稼働率

別添「参考資料：貸室別稼働率一覧」のとおり

③ 修繕・保守・点検等

電気料金値上げに対応し館内照明 LED 化や、男女共同参画センター相談業務のリニューアルに向けた改修工事、また 10 円コピー機のコインベンダーに領収書発行機能を付ける改修等を行った。

その他、適宜点検を行い、その際に異常が認められた箇所や故障した際に施設の運営に多大な影響

を及ぼす老朽化設備をまとめ、明石市に提案及び必要に応じて修繕を行った。

④ 無料施設の運営（7・8階フリースペース、情報ブース等の運営）

市民が誰でも自由に利用できるスペースとして、フリースペースや情報ブースなどの運営を行った。今年度は新たにつながる本棚「hito-haco」が設置したことや、情報ブースを拡充し情報量をより多く閲覧できる環境を作ったことで、興味のある本やチラシなどを手に取りゆっくり眺めるといった新しい人の動きが生まれた。



▲つながる本棚「hito-haco」



▲情報ブース

⑤ 市民みんなでつくるウィズあかしを考える会議「ウィズあかし運営委員会」の開催

多様な市民の意見が反映され、市民と一緒に運営していくウィズあかしを目指し、第2期ウィズあかし運営委員会を昨年度から継続して実施した。市民11名及び学識者2名の運営委員とスタッフで、ウィズあかしの第2期指定管理運営がどのようにあるべきかを中心に検討を重ねた。

【開催内容】

開催回数	内容
3回 各2時間程度	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度ウィズあかし活動報告 ・次期指定管理の動き共有 ・日報等から見える利用者の動向について共有 ・意見交換「2027年のウィズあかしはどうなってほしい？どんな場所であってほしい？」 ・意見交換「これからウィズあかしをよりよくするためにどうすればいい？」 ・意見交換「第3期運営委員会・第2期指定管理運営につなげていきたいこと」

⑥ 市民サポーターの活動

市民が事業や拠点の運営に参画できるサポーター制度を運用した。それぞれの関心に合わせ、複数のサポーターがウィズあかしの運営に携わった。

【活動内容】

内容	事業	サポーター数（延べ）
サロンの運営サポート	ヒルつな／ヨルつな／サタつな／おとなのぬりえサロン	63名
イベントの運営サポート	ウィズフェス（準備、当日運営）	18名
拠点の運営サポート	図書コーナーの運営／ほか	125名

⑦満足度アンケート調査の実施

利用者の潜在的なニーズの把握や利用による変化を確認するため、利用者満足度調査を実施した。利用に対しての満足度は例年同様に比較的高い評価をいただいている。施設利用を通じて、約7割の利用者が様々な変化を受けたことが確認できた。施設利用に関する意見なども寄せられ、今後の対応検討につなげている。

【実施内容】

期間	3月1日(水)～3月31日(金)
回答数	339件 (456件)
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・貸室利用者に貸室鍵等とともにアンケート用紙を渡し、返却時に回収 ・主催事業の受講者にアンケート用紙を渡し、回収 ・無料施設など、館内5カ所にアンケート用紙と回収箱、またオンライン回答用のQRコードを設置し、回収

※ () 内は 2021 年度実績

(2) 複合型事業

生涯学習・男女共同参画・市民活動の3つの各分野にとらわれることなく、複合的な形で事業を実施することで、参加や出会いの機会を広げることを目指した。事業を実施した。特に今年度は、大型イベントやサロンの開催時に出展者やサポーターなどがより協力的に参加できるよう促し、例年以上に市民のエンパワメントにつなげることができた。

① 登録メンバーズ制度

サークルや市民活動など市民が団体として主体的に行う活動や、趣味や特技など自身のスキルを生かして市民講師として活動する市民らをサポートする制度「登録メンバーズ」制度を運用した。また、登録者ら同士で交流することで、活動への意識向上を目的とした交流会「ウィズゆう」を開催した。

◎登録団体数：172 団体（2021 年度：206 団体）

【「ウィズゆう」開催状況】

開催回数	内容	延べ参加者数
3回	<ul style="list-style-type: none"> ・「ウィズフェス 2022」の案内 ・サポートメニューの紹介 ・意見交換・交流タイム など 	89 団体 104 名 (オンライン参加 18 名)

② ウィズフェス 2022

登録メンバーズなど主体的な活動を行う市民らの活動をPRする機会として開催した。昨年につき、サークルなどによるブース出展、市民講師による講座企画、あかねカレッジ登録団体等によるステージ発表などを実施し、来館またはオンラインによって市民が参加し楽しめる機会を作った。

今年度は出展者同士でチームを組み、互いに出展時に協力を促す仕掛け「フェスコミ（フェスコミュニティ）」を実施。実際にコラボレーションが生まれるなど、出展者の活動の幅を広げる機会につなげることができた。

【開催内容】

開催日	内容	延べ参加者数
2月25日(土)・26日(日)	・ステージ発表：26 団体 ・ブース出展：46 団体 ・活動紹介パネル展示：51 団体・ライブ配信 ・ミニステージ発表：13 団体 ・みんなの学校：39 組	約 1,600 名



▲みんなの学校



▲ブース出展

③ 多様な交流の場「クロスカフェ」の開催

誰もが気軽に参加できる交流の場「クロスカフェ」では、多様なテーマによって複数のサロンや交流機会を開催した。

【開催内容】

テーマ	実施回数	延べ参加者数
ヒルつな	12 回 (毎月第 1 木曜日)	60 名
ヨルつな～夜のつながりサロン～	12 回 (毎月第 2 水曜日)	46 名
サタつな	12 回 (毎月第 3 土曜日)	51 名
おとなのぬりえサロン	12 回 (毎月第 4 水曜日)	119 名
本をとおして自分と向き合う時間	5 回	55 名



▲つながりサロン



▲おとなのぬりえサロン

④ 生涯学習・市民活動に関する相談・コーディネート

学習機会や団体活動に関する様々な相談や、必要に応じて適切な相談先や活動先などへのコーディネートを行うなど、市民の生涯学習や市民活動に関する相談に対応した。

【実施内容】

メニュー	件数	主な内容
相談	349 件	学習機会、団体・法人の運営・設立相談、会計相談、広報相談など
コーディネート	73 件	各種教室・サークル・ボランティア活動の機会へのコーディネート

(3) 男女共同参画事業

女性のさまざまな悩みに対して女性問題カウンセラーが対応する「女性のための相談」、就業相談員による「就業相談」のほか、弁護士やキャリアカウンセラーによる各種相談を実施した。また、男性相談に関するニーズも高まっており、月1回の相談を継続して実施した。

講座やセミナーは、相談事業で把握したニーズや社会情勢に応じた事業を企画し、相談利用者が講座やサロンなどの機能を横断して利用しやすいよう取り組んだ。

① 男女共同参画センター相談室

女性のための相談では、相談内容は複雑化、多様化しており、繊細な対応が求められている。継続相談を通して心情面で支えるだけでなく、状況に応じて専門相談窓口につないでいる。今年度は面接を重ねる中で「自分の力で頑張っていけそうだ」と、終結にたどり着いた方が多くおられた。

就業関連の相談では、性別や時間などに関わらず相談できる体制を整え、対応した。カードを活用した相談では多くの利用があり、新たなツールを取り入れるなどし、多様な層に向けて自己理解を深める機会提供を進めた。履歴書・職務経歴書の作成相談も増加しており、求人応募の後押しを行うことができた。その他、夜間や出張での対応など、相談を身近にできる機会の提供に尽力した。

男性のための電話相談では、障害があるがゆえの生きづらさを抱える男性からの相談が多数を占めた。寄り添い姿勢で傾聴し、状況に合わせて適切な情報提供や助言を行った。

【実施内容】

相談機能	実施日	内容	人数・件数内訳	
女性のための相談	火曜～土曜	女性問題カウンセラーによる女性の様々な悩みに対する電話・面接相談	電話相談	851 件 新規 129 件／再相談 722 件 ※内DV関連：35 件
			面接相談	224 件 新規 101 件／継続 123 件 ※内DV関連：38 件
女性のための法律相談	第3木曜日 (計 11 回)	女性弁護士による無料法律相談	42 件	
就業相談	火曜～土曜	女性就労相談員による相談	・電話相談：21 件（新規：10 件） ・面接相談：272 件（新規：130 件） ・出張相談：27 件 ・夜の就業相談：2 件	
履歴書・職務経歴書の作成相談	火曜～土曜	女性就労相談員による応募書類の作成相談	62 件 ※男性 11 件、女性 49 件、その他 2 件	
カードで発見！ 適職のヒント	火曜～土曜	女性就労相談員による適職に関する相談	72 件 ※男性 12 件、女性 59 件、その他 1 件	

女性のための チャレンジ相談	隔月 1 回 (計 6 回)	女性キャリアカウンセラーによる個別面接相談	16 件
男性のための 電話相談	第 3 水曜日 (計 11 回)	男性相談員による男性の様々な悩みに対する電話相談	30 件

② 講座・セミナー等の開催

今年度は生きづらさの要因を自覚し、自分に合った対処法を学んでもらえるように、2 回連続の「セルフケア講座」や「コラージュで自己表現」を実施した他、新たな試みとして「はじめての資産運用講座」や「プチ起業セミナー」など、女性の資産形成や自立に着目した事業を行った。また、一般の方がなじみやすいテーマとして、映画や地域防災をきっかけとした啓発事業を、男女共同参画週間に実施した。

【開催内容】

テーマ	開催日	講座・セミナー名	参加者数	
きっかけとしての 多様なサロンの実施	5月26日(木)、7月23日(土)、9月14日(水)、12月3日(土)、3月11日(土)	コラージュで自己表現	31名	
ひとりひとりの自立 を促す相談・支援	10月12日(水)	働きたいママの再就職準備セミナー	29名	
	10月22日(土)	女性限定！はじめての資産運用講座	34名	
	10月29日(土)	出張！女性のための働き方セミナー プチ起業セミナー	16名	
	11月2日(水) 11月16日(水)	子育て中のママのための自己肯定感アップ～ セルフケア2回連続講座	11名	
	2月5日(日)、2月19日(日)	こころとからだ元気になる セルフケア2回連続講座	29名	
多様性に関する 普及啓発（講座）	10月1日(土)	HSPの良さを活かす考え方と コミュニケーション	52名	
	11月12日(土)	HSPのトリセツをつくろう！	7名	
	11月15日(火)	LGBTQ+/SOGIE 講座	21名	
多様性に関する 普及啓発（展示）	6月23日(木)～6月29日(水)	男女共同参画週間	映画観賞会「大コメ騒動」	454名
			みんなが活きる「これからの地域防災」のすゝめ	56名
			ポスター展示、本の企画展示、図書館連携等	-
	11月12日(土)～11月25日(金)	パープルリボンキャンペーン	-	
ワークライフ・バランスについて考える 機会提供	2月11日(土)	起業準備セミナー	8名	
その他就業・起業に関する講座	7月30日(土)	起業応援セミナー	39名	



▲起業準備セミナー



▲HSP の良さ活かす考え方とコミュニケーション

③ 市民活動団体や女性活躍推進に係るネットワークとの連携

事業実施において、近隣の公共施設や専門的なスキルを持った市民団体等と連携して行った。特に今年度は、初めてとうばんウィズと連携し、LGBT・SOGIE に関する講座を実施した。

【連携内容】

連携機関	連携内容
兵庫県立男女共同参画センターイーブン	・女性のためのチャレンジ相談（通年） ・出張！女性のための働き方セミナー（10月29日）
兵庫県立男女共同参画推進員東播磨地域連絡会議（とうばんウィズ）	・LGBTQ+/SOGIE 講座（11月15日）
ハローワーク	・働きたいママの再就職準備セミナー（10月12日）
明石商工会議所、明石市産業振興財団、日本政策金融公庫明石支店	・起業応援セミナー（会場・オンライン）（7月30日）

④ 外部機関への啓発活動

男女共同参画の視点で支援が必要な市民や、またこの分野に関連して今後の支援者となりうる学生などに向け、ウィズあかしだからこそ得られる社会経験の場や機会の提供を行った。

【実施内容】

実施内容	延べ対象者数
神戸学院大学/大学院 心理学部実習生の受け入れ	21名
あかし若者サポートステーション/ボランティア活動の場の提供	72名

(4) 生涯学習推進事業

2022 年度はこれまで実施してきた内容の拡充に向け、様々な方法や機会づくりに取り組んだ。「あかし楽」では開催場所を中学校コミセンとし、その地域に纏わるテーマを扱うことで地域をより身近に感じられる機会づくりを実施。本を通じた交流づくりでは、拠点運営を行う主催者同士の交流機会

で情報交換を促し、明石の魅力のひとつでもある“本のまち明石”の拡充につなげた。

また、市民講師の育成と情報発信・提供に注力。発信方法が分からないことでマッチングが起きにくい市民講師の状況に対し、広報セミナーや情報発信ツールを作成。それらにより、市内の学習機会におけるコーディネートを充実させた。

① 講座・セミナー等の開催

身近なまちや暮らしについて学ぶことを通じ、地域や社会に関心を持てるきっかけづくりの講座等を開催した。あかし学講座では、フィールドワークを実施したり、講座後に講師など交流会を実施したりすることで、学びを深める機会とした。また、本を通じた交流機会を開催し、学びの幅を広げた。

市民講師を育てる事業として、ニーズが多い「広報力」の向上のセミナーを実施。ワークショップ形式で実践し学び合うことで、講座後の活動につながっている。

【開催内容】

講座名	開催日	内容	延べ参加者数
あかし学歴史講座	9月3日(土)、9月24日(土)、10月8日(土)、10月22日(土)、11月12日(土)、11月19日(土)、12月3日(土)、12月17日(土)、1月21日(土)	多様な講師による「交通史からみた明石の歴史」について	497名
広報スキルアップ講座 「ほぼ初めてさんのためのチラシ作り講座」	1月29日(日)	チラシ作りの基本やコツについて	6名
ウィズフェス2022 キックオフ ミーティング(再掲)	11月23日(水)	フェスコミ区画ごとの交流・説明等	90名
ブックスポット ミーティング	10月29日(土)	本を通じたつながりなど情報交換の場	12名
はじめての Zoom 体験会	5月26日(木)	基本的なZoomの使い方について	2名



▲あかし学歴史講座



▲広報スキルアップ講座

② あかし学実行委員会の運営

あかし学講座を多世代がまちの魅力と出会うことのお機ゑとするために、これまで中心だつた歴史以外の要素を盛り込むことや開催日時、開催場所等の検討を進めている。

【開催内容】

開催回数	開催日	内容	延べ参加者数
4回	4月19日(火)、7月28日(木)、 12月20日(火)、3月1日(水)	・2022年度のあかし楽講座の内容について ・今後の実行委員会のあり方について など	28名

③ 情報発信・情報提供

市民講師が明石のまちなかで活動を広げていくツールとして「講師カタログ2023」を発行した。中学校コミセンのエリアマネージャー等これまで市民講師のコーディネート依頼が多くあった機関への配布とウィズあかしホームページに掲載することで、依頼者と市民講師をつなぐ機会を増やした。

◎掲載講師数：33名



▲講師カタログ表紙

(5) 市民活動支援事業

これまでの市民活動支援を中心に、その充実を進めた。市民活動ステップアップ助成では、活動状況に応じて選べる2コースと、また男女共同参画やSDGsなど当法人だからこそその申請分野を設け、市民活動の裾野を広げていくことに取り組んだ。また、団体同士の交流をきっかけに、より協働を進めやすい機会づくりを、ウィズフェスなど団体の活動発表などを通じて進めた。実際に協働やコラボ事業を行う活動も見受けられた。

① ウィズあかし市民活動ステップアップ助成

昨年度に続いて市民活動団体や校区まちづくり組織に対する助成事業を実施した。今年度は新規事業チャレンジコース（上限50,000円）と、既存事業チャレンジコース（男女共同参画分野、SDGs推進分野、共に上限30,000円）を設け、申請できる活動の幅を設けた。この助成はウィズあかし7・8階設置の市民活動・男女共同参画支援自動販売機の売り上げを原資とした。

【実施内容】

対象	応募数	採択数	助成総額
ウィズあかし登録団体 または校区まちづくり組織	14団体	13団体	388,486円



▲市民活動ステップアップ助成のチラシ

② ウィズあかし市民活動ステップアップ助成説明会

助成採択団体に対し、実施後の活動の報告書の書き方や助成事業の注意事項を説明し、事業実施に向けての不安点解消や活発な活動展開を狙い実施した。交流会も設け、互いに意識啓発し合う環境づくりも行った。

【実施内容】

実施日	対象	内容	参加者数
7月30日(土)	助成採択団体	・実施報告書の記載方法や注意事項の説明 ・交流会	6団体 8名

③ 市民活動普及啓発事業

Youtube チャンネル「ウィズあかしちゃんねる」に掲載する、団体活動動画の撮影会を実施した。動画掲載により、活動の新たな広報ツールの活用促進を狙った。

【実施内容】

事業名	実施日	内容	参加者数
活動紹介 動画撮影会	8月17日(水)	活動を広報したいと考えている登録メンバーを対象に動画撮影・編集・配信の流れをサポートし、広報する機会をつくる。	3団体

④ 市民活動のコラボ・協働推進事業

館内に掲示する活動ポスターの作成や、イベント出演の広報物作成などを、市民活動を行う個人・団体らが合同で行う機会を実施。コミュニケーションや交流しながら行うことで、その後のイベントでの協働へとつなげた。

【実施内容】

事業名	実施日	内容	延べ参加者数
紹介パネルを 一緒につくろう！ ワークショップ	8月25日(木)、9月1日(木)	登録メンバーとあかねカレッジ登録団体が合同で活動紹介パネルをつくりながら、交流の機会や広報発信をする意識を高める。	40名 (18団体)
フェスコミ区画 動画撮影会	1月20日(金)、1月21日(土)、 1月24日(火)、1月31日(火)、 2月1日(水)、2月8日(水)	ウィズフェス2022に向けて紹介動画を撮影。どのような内容にするかなどは団体同士で企画し、参加者間の連携や横のつながりづくりを生み出す。	19名
フェスコミ区画 看板ボード作成会	1月21日(土)	ウィズフェス2022に向け活動紹介の看板ボードを作成。どのような内容にするかなどは団体同士で企画する。	9名



▲フェスコミ区画看板ボード作成会



▲フェスコミ区画動画撮影会

IV. 情報発信・情報提供に関する事業-全体に関する事業-

中間支援組織である当法人としての「情報の中間支援的役割」において、情報を発信したい人とその情報を必要としている人をつなぐことが重要であり、各媒体の特徴を活かして両者にアプローチすることが必要だと考えている。だれでもチラシや情報紙等を配架できる「情報ブース」での年間2,000件を超える広報物の紹介や、紙面や文字では伝わりにくい雰囲気伝える「YouTube」等多様な媒体を活用することで、両者が「情報」を介して出会える機会をつくっている。

また、その両方の利用の増加を目指し、各媒体の利便性を高め充実化を図るとともに存在の周知PRも行っている。

(1) インターネットを活用した情報発信

① ウィズあかしホームページの運用

ウィズあかしのホームページでは、利用者や検索者が目的の情報にアクセスしやすいように常に意識し運用している。特にトピック的にお知らせしたいこと等はバナーを作成することで、アクセスを簡易にする工夫をしている。



▲バナー一覧

◎年間アクセス数：143,152pv

② ポータルサイト「まちなび AKASHI」の整理と運用

「まちなび AKASHI」では、明石のまちのイベント情報だけでなく市民活動団体や校区まちづくり組織、中学校コミセンの情報等多岐に渡っている。煩雑にならないように、互いの関係性や情報の所在地の整理等を行い、より一層ポータル化が進めている。また、イベント情報の申請方法や情報の更新方法等に対応できる体制を取っている。



▲まちなび AKASHI トップページ

◎年間アクセス数：106,399pv

③ 動画配信サービス YouTube「ウィズあかしちゃんねる」の運用

どこでも好きな時間に動画で情報を得ることができるアーカイブ機能や現地の空気を感じられるライブ配信を使い分け、イベントの様子やウィズあかしのセンター機能、登録メンバーズの活動紹介などを発信し内容の充実をめめた。

◎登録者数 108 人

④ 各種 SNS (Twitter、Facebook、Instagram) の運用

貸室の休館情報や開館時間の短縮など緊急度の高い情報も迅速に発信するように努めた。SNS をきっかけにウイズあかしの利用やイベントへの参加にもつながっている。

◎フォロワー数

開催日	Twitter	Facebook	Instagram
一般財団法人明石コミュニティ創造協会	30	460	—
複合型交流拠点ウイズあかし	930	583	367
あかし男女共同参画センター	635	—	—

いずれも 2023 年 3 月 31 日現在

(2) 情報紙の発行

① イベント情報紙の発行

明石のまちのイベント情報に特化したイベント情報紙 Ru,Ru,Ru として、イベントを通して市民が明石のまちなかでの活動や学びにつながるきっかけづくりとしている。また、まちナビ AKASHI のセレクトペーパーとすることで、サイトにあるイベントや市民活動団体の情報へのアクセスも増やし多様な情報に出会えることをねらい発行している。

◎イベント情報紙 Ru,Ru,Ru 1,000 部発行 (4 月号～3 月号)

② 図書パスファインダー (道しるべ) の発行

主催講座の PR やテーマの啓発を目的に、7 階図書ライブラリに所蔵する関連書籍の紹介を目的としている。

発行日	テーマ	発行部数
4 月 14 日 (木)	vol,12 「4 月は「若年層の性暴力予防月間」」	800
6 月 21 日 (火)	vol,13 「男女共同参画週間」	800
9 月 17 日 (土)	vol,14 「あなたも資産運用について考えてみませんか？」	800

(3) 情報収集及び提供

① 情報ブースの充実化

これまで「情報スペース」として、通路の一部にチラシラックを置いていたため、チラシの数やレイアウトの見せ方に限界があった。そこで、「情報ブース」として新たに情報と出会える場所を作り、ジャンルの分かりやすい表示や明石に特化した情報をまとめる等を行った。



▲ 8 階情報ブース

V. 市民の主体的な活動支援事業

1. あかしまちなかブックスポット事業

「本のまち明石」を目指し、「いつでも、どこでも、だれでも」手を伸ばせば「本」に届く環境を作り出すために、市内に点在する多様な形式の本が集まる場所（総称してブックスポットと呼ぶ）を支援する事業を明石市本のまち推進課より受託した。これにより本と本、人と人の交流の場の提供を創出し、「本のまち明石」を推進した。



具体的には、市内で活動する 70 ヶ所を超えるブックスポットを掘り起こし MAP 等を通じて可視化するとともに、助成事業等を通じて各ブックスポットの活動の拡充につなげた。助成金は単なる本の充実だけでなく、人が訪れやすい雰囲気にし、交流会を始めるブックスポットが出てくるなど、新しい動きを生み出すことにもつながった。

さらに、2022 年度は、これらのブックスポットをつなぐハブ的な役割を果たすために、ウィズあかしにつながる本棚 hito-haco（利用状況は現在、56 棚/90 棚）（以下、hito-haco）を新設した。これらの取り組みにより、徐々に当法人が各ブックスポットや hito-haco オーナーの相談やコーディネートに日常的にのる体制につなげることができた。少しずつではあるが、各ブックスポットや hito-haco オーナーからの相談対応につながってきている。

(1) 一箱本棚「つながる本棚 hito-haco」の新設及び管理・運用

ウィズあかし 8 階フリースペースに「つながる本棚 hito-haco」を設置し、市民（個人・団体・企業などを含む）が本棚 1 区画を借り、自分の好きな本などを置ける仕組みである「一箱本棚オーナー制度」により運用を開始した。また、市内ブックスポット運営者（個人・団体・市）に無料で本棚を貸し出すことで hito-haco が市内ブックスポットの拠点としてつながりを生み出している。



◎利用棚数 56 棚/90 棚、蔵書数 794 冊（2023 年 3 月 31 日現在）

▲つながる本棚「hito-haco」

（わたし haco31 棚/60 棚、あかし haco25 棚/30 棚）

※わたし haco…市民（個人・団体・企業などを含む）が本棚 1 区画を借り、自分の好きな本などを置くことができる。

※あかし haco…市内ブックスポット運営者（個人・団体）や市（各課）が本棚 1 区画を借り、ブックスポットの紹介や市の施策の啓発になる本を置くことができる。

(2) 「明石のまちなかにあるブックスポットを集めた MAP」の改訂

明石市全域と身近な場所にあるブックスポットを視覚的に知り、実際に訪れるきっかけにつなげるため、市内にあるブックスポットの情報を一つの地図にまとめた「明石のまちなかにあるブックスポットを集めた MAP」を改訂した。



▲明石まちなかブックスポットMAP

【取組内容】

仕様	部数	掲載ブックスポット数
A4、8ページ、観音折り	10,000部	69ヶ所

(3) 「本のまち発信！つながる本棚・ブックスポットMAP完成おひろめ会」の開催

本と人とのつながりの場をつくるための意識や期待感が高まるキックオフイベントを開催した。「つながる本棚 hito-haco」と「明石まちなかブックスポット MAP」のお披露目を一体的に行い、一本の長いテープを用いて市民参加型のテープカットを行った。また広がりを見せている市内のブックスポットの情報や他地域事例や取組を紹介するゲストトークを行い、ブックスポットの普及啓発をした。

【開催内容】

実施日時	場所	内容	参加人数
7月2日 (土) 10:00～ 12:30	ウィズあかし8階フリースペース	・第1部 「明石まちなかブックスポット MAP」改訂版の完成お披露目と「つながる本棚 hito-haco」オープニングセレモニー ゲスト 明石市長、明石市議会議長、さかなクン、磯井氏、土肥氏 ・第2部 ゲストトーク「『本』でつながるってどういうこと？」 (ゲストトーク・交流会) ゲスト講師 磯井純充氏(まちライブラリー提唱者) 土肥潤也氏(みんなの図書館さんかく館長)	50名

(4) ブックスポット充実のための相談やコーディネート

持続可能なブックスポット運営ができるよう様々な相談にのるとともに、他の活動を紹介するなどコーディネートをした。さらに、ブックスポットMAP発行後は、各ブックスポットに実際に足を運び、関係づくりを行った。

(5) 「明石まちなかブックスポット」のブランディングのためのデザイン確立及びグッズ製作

本のまち明石を推進するため明石まちなかブックスポットに統一したデザインを確立しグッズを制作した。

【取組内容】

製作物	掲出用フラッグ(さかなクン作成のイラストを利用)	100個
-----	--------------------------	------

	広報用シール（さかなクン作成のイラストを利用）	100 枚
	「明石まちなかブックスポット」をブランディングしたフラッグ	150 個
	「明石まちなかブックスポット」をブランディングした広報用シール	200 枚

(6) 「明石まちなかブックスポットパワーアップ助成」の実施

既存の市内71ヶ所の明石まちなかブックスポットを対象に助成募集をし、ブックスポットの蔵書の追加や環境整備（書架の設置や更新、室内装飾など）、各広報活動に対する助成制度を企画し、実施した。また、助成先のブックスポットへの訪問・フォローも行った。

【取組内容】

助成対象	助成期間	助成総額	助成対象経費	助成ブックスポット数
既存の明石のまちなかブックスポット 71ヶ所	1月10日～3月20日	1,498,000 円 (1箇所あたり上限 200,000 円)	蔵書の追加や環境整備（書架の設置や更新、室内装飾など）、各種広報活動にかかる経費	20ヶ所

(7) 「明石まちなかブックスポットパワーアップ勉強会」の開催

他のブックスポットの事例を知り、明石まちなかブックスポットのオーナー同士が意見や情報を交換し、互いに学び合い、パワーアップできる勉強会を開催した。

【取組内容】

実施日時	場所	内容	参加人数
2月4日（土） 10:00～12:00	ウィズあかし8階 フリースペース	全国の多種多様なまちライブラリーの事例を紹介するとともに、まちなかの図書室の運営や日々の中で起こっている事例を紹介 ◆ニュー☆ハリマ図書室（在間夢乃氏、乾孝子氏） 会場にて登壇 ◆まちライブラリー事務局（磯井純充氏、小野千佐子氏、川原紗英子氏） オンラインにて登壇	18名

2. インクルーシブ学習用コンテンツの制作・配信業務

健康で時間や生活に余裕がある人だけでなく、障害や年齢、性別、国籍、文化など様々な問題でこれまで学習する機会が少なかった人にも学習機会を提供し、多様性を認め合い、共に暮らしていくインクルーシブ社会の実現への一助とする。そのために、学習用コンテンツ配信の環境整備を行い①明石のまちを知る②ジェンダーの平等③災害対策をテーマに学習用コンテンツを掲載した。



▲掲載コンテンツ例

◎掲載編数：明石のまちを知る 4 編、ジェンダーの平等 4 編、災害対策 3 編

◎アクセス数：146 回 ※掲載期間 2023 年 1 月～ 3 月

3. 明石にじいろキャンペーン市民向けセミナー運営業務

明石市では、SOGIE（性的指向、性自認、性表現）に関わらず、LGBTQ+（性的マイノリティ）を含むすべての市民が自分自身を大切に、自分らしく生き、互いを認め合える「ありのままがあたりまえのまち」の実現を目指してLGBTQ+/SOGIE 施策を推進している。

その施策の普及推進の一環として「明石にじいろキャンペーン」を実施するにあたり、一般市民のLGBTQ+/SOGIE の理解促進を図ることを目的として、明石市SDGs推進室よりセミナー運営業務を受託した。LGBTQ+当事者のゲストスピーカーを4名招いて自身の体験や活動のクロストークをしていただき、LGBTQ+当事者とテーマに関心のある方が参加する中で質疑応答が行われた。

ゲストには自身の私生活や実際に他市制度を利用して、実感したこと、困ったこと等の貴重なエピソードを語っていただいた。一般参加者にとって親しみやすく身近に感じられ、市の取り組みへの理解促進、および当事者を勇気付けることにつながったと考えられる。

◎テーマ：LGBTQ+カップルのリアル ～私たちのパートナーシップ・ファミリーシップのかたち

◎日時：1月28日（土）14:00～16:00

◎ゲスト：井上ひとみさん、瓜本淳子さん、本多まささん、ゆうたさん

◎参加者数：20名

4. 視察受け入れ、講師派遣等

市民・団体等に向けて、主体性を育むための様々な取り組みを実施し、協働のまちづくりを推進した。具体的な取り組みとしては以下のとおり。

(1) 地域づくりを支援する人のためのケースブックの販売

販売冊数：49冊

(2) 視察会の開催

明石のまちづくり視察会 2月5日（日）10～12時 参加者14名

(3) 視察受け入れ

【視察受け入れ実績】

受け入れ日	依頼者	人数
8月9日	愛知大学	5名
8月26日	神戸市	5名
9月23日	播磨町自治会連合会	29名
10月18日	豊岡市	12名

10月26日	岩手県立大学	4名
11月18日	高松市円座地区民生委員児童委員協議会	17名
11月27日	京田辺市区・自治会長連絡協議会	18名
12月6日	香春町	3名
1月17日	宮崎市	4名
2月16日	茨木市市民活動支援センター	3名

(4) 講師・委員等派遣事業

ウィズあかし運営、地域支援、市民活動支援などの複合的な動きについて多数の視察、講師依頼を受けた。

【講師派遣実績】

内容	派遣日	依頼者	テーマ	派遣者
講師	5月11日	野々池コミュニティセンター	コミュニケーションでまちづくり	原裕己
講師	5月11日	朝来市	男女共同参画講演会	柏木登起
講師	6月27日	あかねが丘学園	効果的なチラシの作り方①	原裕己
パネリスト	7月2日	コミュニティ政策学会	人と地域がつながる場とこれからの地域まちづくりについて-公立の地域拠点（公民館等）-	佐伯亮太
事例紹介	7月3日	豊岡市	支えあう地域のしくみを考える意見交換会（全体会）	柏木登起
講師	7月29日	南あわじ市	まちと人をつなぐ広報のこれから-地域づくり協議会の広報を考える-	宮内龍太郎
講師	8月27日	播磨町	これからの播磨町のまちづくり～自分たちのまちは自分たちでつくる～	柏木登起
講師	9月12日	あかねが丘学園	効果的なチラシの作り方②	原裕己
講師	9月30日	長浜市地域まちづくり連絡会	長浜市地域まちづくり連絡会研修会	柏木登起
ミニ講演 コーディネーター	11月12日	ひょうご女性未来会議 in ふくさき実行委員会	第42回ひょうご女性未来会議 in ふくさき	柏木登起
講師	11月17日	ランドブレイン株式会社	内閣府「小さな拠点 HUB」（検討会）	柏木登起
講師	12月3日	米子市	男女共同参画講座（自治会長研修会）	柏木登起
講師	12月16日	魚住コミュニティセンター	ええトコ☆再発見！うおずみトーク会	原裕己
講師	12月17日	栗東市	地域活動活性化研修	宮内龍太郎
話題提供	2月17日	東近江市	小規模多機能自治推進ネットワーク会議近畿ブロック会議（研修）	柏木登起
パネリスト	3月13日	ランドブレイン株式会社	内閣府「小さな拠点」づくり全国フォーラム	柏木登起
話題提供	3月14日	NPO 法人丹波ひとまち支援機構	2022 年度自治協議会全体研修	柏木登起

講師	3月19日	桑名市	地域が描くまちづくりセミナー	宮内龍太郎
委員	—	総務省	過疎地域持続的発展支援交付金事業 評価委員	柏木登起
委員	5回	総務省	地域運営組織の形成及び持続可能な 運営に関する研究会	柏木登起
委員	2回	豊岡市	豊岡市地域づくり戦略会議	柏木登起
委員	3回	兵庫県	ため池の保全等に関する推進方針フ ォローアップ検討会	柏木登起

＜その他の委員派遣＞ いずれも 2022 年 3 月現在

- ・社会福祉法人明育 評議員 永野潔
- ・一般社団法人明石観光協会 理事 柏木登起
- ・あかし女性応援ねっと 事務局長 柏木登起

VI. 法人管理

前述のとおり、2022 年度は設立 40 年、一般財団法人化 10 年の節目の年として、法人のビジョン・ミッション・パーパスの策定に取り組んだ。これにより、法人のパンフレットや名刺等デザインなども刷新することができた。11 月には設立 40 周年事業として、「アカシコミュニティパーティー」を開催。多くの参加者とともに、明石のコミュニティの歴史と明石コミュニティ創造協会の存在意義について共有する機会となった。

また、2022 年度は会計面での業務効率が大幅にアップした 1 年だった。新しい会計ソフトにより、かなりの時間短縮ができ、その分他の業務に注力することができたことは大きな成果であった。

その他、評議員会、理事会、理事運営会議の運営等はもちろんのこと、スキルアップ評価を通じた人材育成や、労務・登記等各種事務はこれまで通り安定して実施することができた。

具体的な取り組み内容は以下のとおり。

(1) 明石コミュニティ創造協会のブランディング

2022 年度は設立 40 年、一般財団法人化 10 年の節目として、法人のビジョン・ミッション・パーパス及びロゴを策定した。策定内容は下記のとおり。

策定項目	内容
パーパス（存在意義）	わたしづくり なかまづくり まちづくり
ビジョン（目指す姿）	ワタシのまち といいたくなる アカシ
ミッション（使命）	ちょっとあたらしい明後日を トモに
ロゴ	<p>ちょっとあたらしい明後日を トモに</p> 

(2) 一般財団法人明石コミュニティ創造協会設立 40 周年記念事業

設立 40 周年を記念して、「アカシコミュニティパーティー～明石のまちのこれまで・これから～」を開催した。

◎日時：11 月 19 日（土）10～12 時

◎会場：複合型交流拠点ウイズあかし 8 階フリースペース

◎プログラム：コミュニティヒストリー～明石のコミュニティのこれまで～
パネルディスカッション「明石のコミュニティのこれからを考える」

◎参加者数：63 名

(3) 法人の基盤整備事業の内容

- ・評議員会・理事会の運営
- ・理事運営会議の開催
- ・明石コミュニティ創造協会のブランディング
- ・ビジョン会議等法人の今後の方向性を検討する機会の開催
- ・スタッフの人材育成及びスキルアップ評価の仕組み、給与評価制度の運用
- ・新しい会計ソフト導入による会計処理の効率化
- ・会計・税務処理
- ・労務処理
- ・各種規程の見直し
- ・法人情報の開示の徹底
- ・法人ホームページ及び SNS の運用
- ・登記変更及び届出、その他手続の処理
- ・その他法人の運営に関すること

(4) 会議開催状況

【評議員会】

第 26 回評議員会（6 月 23 日）：2021 年度事業報告（報告）

2021 年度決算承認（議案）

2022 年度予算（報告）

第 27 回評議員会（3 月 15 日）：2023 年度事業計画（報告）

2023 年度暫定予算（4～6 月分）（報告）

【理事会】

第 34 回理事会（6 月 4 日）：2021 年度事業報告、2021 年度決算報告、2022 年度予算
各種規程の改定、第 26 回評議員会の開催

第 35 回理事会（10 月 14 日）：印章取扱規程の改正、ウイズあかし指定管理公募申請

ブランディングの進捗状況、設立 40 周年記念事業

第 36 回理事会（2 月 21 日）：2023 年度事業計画、地域手当の創設、各種規程の改定

2023 年度暫定予算、第 27 回評議員会の開催

理事会：〈みなし開催〉：2022 年度補正予算

【その他の会議】

- ・ 理事運営会議（年 1 回開催）
- ・ ビジョン会議（法人の今後の方向性を考えるリーダー以上のメンバーによる会議）
- ・ 職員全体会（毎月第 1 月曜に開催）
- ・ その他各チーム別会議等（随時開催）

(3) 人員体制 ※2023 年 3 月 31 日現在

【役員体制】

評議員：石井美弥子、川島幸夫、高岸益子、藤本庸文、宮内正次、門前喜康、山本洋子

理事長：永野潔（常勤理事）

常務理事兼事務局長：柏木登起（常勤理事）

理事：澤井康樹、竹内利江、久隆浩、山下孝光

監事：乗鞍良彦、藤田道広

【スタッフ】

事務局員：市出向職員 5 名、プロパー常勤職員 10 名、パート職員 16 名

○令和元年度 - 令和4年度稼働率比較表													単位：%	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間稼働率
学習室701	R04	63.5	65.4	71.8	69.1	65.4	72.4	66.0	84.0	75.0	70.8	77.1	71.3	71.0
	R03	62.3	41	52.6	61.7	57.1	53.8	70.4	73.3	77.1	66	48.6	58.6	60.2
	R02	24.1	8.3	56.7	63.0	68.6	59.0	67.9	72.0	73.6	54.2	66.0	64.7	61.6
	R01	70.0	71.6	75.6	70.5	71.6	77.3	77.8	81.4	72.9	79.9	88.0	32.7	72.3
学習室702	R04	67.9	67.9	71.8	72.8	67.9	75.6	75.6	80.8	79.2	76.4	84.7	87.5	75.7
	R03	50.6	51.3	66.7	79.0	57.7	56.4	84.0	73.3	79.2	63.9	61.1	54.3	64.8
	R02	44.4	4.2	56.0	60.5	66.7	73.1	75.3	72.0	68.1	54.2	68.1	61.5	63.1
	R01	82.7	70.4	82.1	78.2	75.3	84.0	80.2	83.3	83.3	73.6	86.7	50.0	77.4
学習室703	R04	64.9	70.5	70.5	77.8	67.9	76.9	69.2	80.8	79.2	69.4	76.4	82.3	73.8
	R03	53.2	39.7	39.7	63.0	53.8	47.4	82.7	70.7	72.2	63.9	52.8	59.3	58.2
	R02	61.9	12.5	37.3	39.5	55.1	65.4	60.5	64.0	65.3	54.2	47.8	57.7	53.6
	R01	67.1	61.7	80.8	74.4	71.6	86.7	75.3	79.5	76.4	75.0	80.0	29.5	71.4
学習室704	R04	63.0	70.5	70.9	72.8	68.6	76.9	80.1	82.1	63.2	72.2	81.9	75.2	73.1
	R03	44.2	36.5	51.9	65.4	50.0	53.8	71.0	75.3	70.1	66.7	62.5	70.3	59.8
	R02	28.0	37.5	34.7	54.9	53.8	65.4	64.2	70.0	70.1	59.7	59.0	61.5	56.8
	R01	63.5	59.3	72.4	66.9	58.6	76.0	69.8	78.8	60.6	65.7	73.3	16.7	63.4
学習室801	R04	76.9	68.2	76.9	78.4	69.9	82.7	77.9	82.1	84.7	77.1	88.9	85.8	79.1
	R03	60.9	50.0	49.4	69.1	67.3	67.9	79.6	83.3	79.2	68.1	67.4	72.2	67.9
	R02	33.3	16.7	58.7	66.0	60.3	73.7	65.4	75.3	63.9	58.3	63.6	71.8	63.3
	R01	77.4	67.9	83.3	69.5	76.5	88.0	79.0	87.2	76.4	72.0	85.3	34.0	74.6
学習室802	R04	70.5	65.4	78.2	75.3	69.2	67.9	73.1	84.6	70.8	65.3	81.9	76.5	73.2
	R03	59.0	46.2	47.4	56.8	43.6	46.2	79.0	78.7	65.3	61.1	58.3	66.7	59.0
	R02	40.7	4.2	38.7	48.1	44.9	67.9	63.0	60.0	55.6	54.2	52.2	48.7	51.5
	R01	64.0	65.4	75.6	70.5	58.0	70.7	65.4	83.3	63.9	55.6	78.7	36.4	65.7
学習室803	R04	61.0	65.4	76.9	64.2	55.1	67.9	71.8	82.1	79.2	77.8	75.0	79.0	71.3
	R03	53.3	25.6	57.7	56.8	53.8	44.9	65.4	78.7	68.1	58.3	63.9	63.0	57.5
	R02	37.5	4.2	52.0	51.9	51.3	59.0	67.9	61.3	63.9	58.3	48.6	46.2	54.0
	R01	56.2	55.6	69.2	69.2	72.8	74.7	69.1	82.1	73.6	64.8	74.7	30.8	66.0
学習室804	R04	75.6	82.1	78.2	76.5	70.5	70.5	80.8	80.8	76.4	81.9	80.6	79.0	77.7
	R03	69.2	60.3	71.8	70.4	74.4	71.8	84.0	78.7	90.3	80.6	65.3	70.4	73.9
	R02	40.7	16.7	66.7	72.8	69.2	75.6	75.3	74.7	76.4	69.4	62.5	79.5	69.6
	R01	82.7	88.9	87.2	89.7	74.1	89.3	88.9	88.5	84.7	88.9	86.7	60.3	84.1
学習室805	R04	62.8	64.1	82.1	66.7	65.4	59.0	66.7	74.4	59.7	66.7	76.4	65.4	67.5
	R03	42.3	50.0	61.5	55.6	57.7	56.4	71.6	61.3	81.9	65.3	59.7	55.6	59.9
	R02	40.7	8.3	50.7	56.8	48.7	47.4	64.2	57.3	56.9	56.9	55.6	64.1	54.0
	R01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調理実習室	R04	14.1	28.2	35.1	40.7	29.5	29.5	30.8	44.9	47.8	30.6	61.1	43.2	36.3
	R03	5.1	9.0	10.3	27.2	12.8	17.9	24.7	40.0	42.0	27.8	27.8	18.5	21.9
	R02	7.4	0.0	5.3	22.2	11.5	9.0	29.6	33.3	16.4	15.3	8.3	19.2	16.3
	R01	21.3	32.1	41.0	39.7	33.8	38.7	53.1	58.4	41.2	26.4	60.0	12.8	38.2
和室	R04	35.9	39.7	51.3	44.4	50.0	51.3	53.8	61.5	48.6	56.9	66.7	56.8	51.4
	R03	44.9	38.5	42.3	35.8	30.8	29.5	49.4	49.3	48.6	48.6	44.4	43.2	42.1
	R02	14.8	4.2	38.7	38.3	39.7	46.2	50.6	50.7	41.7	36.1	31.9	48.7	40.3
	R01	62.7	51.9	62.8	64.1	51.9	69.3	67.9	74.4	56.9	75.0	73.3	32.1	61.7
子午線ホール	R04	42.5	27.6	53.9	70.4	57.9	37.2	60.5	77.3	47.1	69.5	68.6	44.4	54.7
	R03	34.8	12.8	43.4	59.3	34.6	24.4	56.2	66.2	58.0	50.8	64.3	45.8	45.9
	R02	8.3	0.0	2.7	10.1	12.8	28.2	53.3	55.4	41.7	15.3	51.9	33.3	27.2
	R01	50.0	33.3	65.3	67.9	63.0	50.0	68.9	73.1	58.0	48.6	66.7	11.0	54.8
リハーサルスタジオ	R04	28.6	43.6	44.9	55.6	36.4	39.7	40.8	60.3	40.3	47.2	58.3	43.2	44.9
	R03	36.5	25.6	29.5	44.4	29.5	44.9	45.7	58.7	41.7	40.3	37.5	34.6	39.1
	R02	20.8	0.0	13.3	25.9	20.5	28.2	33.3	45.3	34.7	22.2	27.8	23.1	26.4
	R01	39.7	42.0	42.3	41.6	58.0	48.0	55.6	67.9	41.7	54.2	54.7	32.9	48.4
音楽練習室1	R04	65.4	70.5	73.1	63.0	65.4	69.2	71.1	82.1	75.0	70.8	77.8	65.4	70.7
	R03	51.3	52.6	47.4	53.1	52.6	70.5	77.8	57.3	59.7	68.1	56.9	46.9	57.9
	R02	51.9	12.5	42.7	66.7	52.6	48.7	61.7	65.3	56.9	59.7	54.2	61.5	55.6
	R01	70.7	70.4	73.1	69.2	77.8	84.0	84.0	84.6	81.9	86.1	88.0	57.7	77.2
音楽練習室2	R04	19.2	32.1	30.8	28.4	29.5	39.7	28.9	53.8	37.5	31.9	36.1	46.9	34.6
	R03	24.4	37.2	28.2	34.6	26.9	35.9	35.8	45.3	31.9	27.8	11.1	19.8	29.9
	R02	3.7	4.2	20.0	29.6	26.9	30.8	28.4	36.0	22.2	26.4	26.4	35.9	26.8
	R01	46.7	43.2	38.5	43.6	49.4	61.3	65.0	65.4	58.3	54.2	64.0	29.5	51.5
ウィズあかし全室平均	R04	56.4	59.2	65.9	65.4	59.6	63.8	65.1	75.5	66.0	65.8	74.4	68.5	65.4
	R03	47.8	39.1	47.4	54.5	48.7	49.9	66.6	67.9	66.3	58.8	53.1	54.6	54.7
	R02	29.3	7.6	39.6	49.5	48.1	54.2	58.8	61.7	56.5	48.1	50.6	54.2	50.2
	R01	62.7	59.5	69.5	66.0	64.7	72.9	72.2	78.6	67.2	66.9	76.9	32.4	65.7